

■助成事業

事業名 実施者	目的	事業内容	総事業費 [補助額] (円)	採用 回数	中区 らしさ A(高い) B(普通) C(低い)	事業目的 の達成度 A(高い) B(普通) C(低い)	財政支援 の必要性 A(高い) B(普通) C(低い)	費用対 効果 A(高い) B(普通) C(低い)	評価
1 富塚地区 市民の森と触れ合う会 特定非営利活動法人 地域創生支援事業団	富塚地区市民の森の近隣住民を対象に、森と触れ合う機会を設け、幅広い年齢層が集う機会を提供する。荀掘りや凧作りなどを通して、森の大切さを理解する機会を提供する。	【期間】 H30. 4. 2～H31. 3. 31 【場所】 富塚町400番地 富塚倶楽部 【内容】 ・竹林の清掃、荀掘り、棒パン作り (H30. 4. 15) 参加者52人 ・凧作り (H31. 3. 17) 参加者54人 参加者合計106人 (提案時想定80人)	410,401 [101,000]	3	A	A	A	B	・園児から高齢者まで、幅広い年齢層がイベントに参加。荀掘りや棒パン作りに挑戦することで、参加者同士のコミュニケーションが図られ、地域交流に貢献した。 ・富塚地区の竹を使用した凧の絵付けや、近隣で採れたフキノトウや明日葉で天ぷらを揚げるなど、地元の自然に対する関心を高めることに繋がった。 ・竹林の清掃では、45Lゴミ袋2袋分のごみを収集。地域の子どもたちが森の大切さを学ぶ機会となった。
2 花いっぱい・交通安全推進事業 和合町自治会	安心して快適に暮らせるまちづくりを目指して、花いっぱい運動及び交通安全宣言の町を住民共通の目的として推進し、共生・共助の機運を醸成するとともに、地域コミュニティの再構築を推進する。事業の基盤整備を平成29年度から令和元年度の3ヶ年事業として実施し、その後、自治会自主事業として継続する。	【期間】 H30. 4. 1～H31. 2. 20 【場所】 和合町地内 【内容】 ・花いっぱい事業…町内に花のプランターを配置、花の苗の配布、のぼり旗の作成。 ・交通安全推進事業…交通事故件数掲示板の設置、交通安全教室の開催、カーブミラー清掃、反射材付き携帯ライトの配布、のぼり旗の作成。	1,115,688 [312,000]	2	A	A	B	A	・町内に花のプランターを合計80カ所設置。苗の植え替えや水やりを住民が協力して行うことで、コミュニティの輪が広がり、地元への関心を高めることに繋がった。 ・交通事故件数掲示板の設置や反射材付き携帯ライトの配布、のぼり旗の作成等、きめ細かく継続的な交通安全の啓発に努め、住民が互いを見守る機運が広がった。 ・住民の交通安全意識の高揚と参加の機運を醸成し、自治会自主事業として継続可能な基盤が構築されたと認められる。
3 第2回浜松Open Art 浜松Open Art	創造都市浜松の中心地でアート活動を行うことで、豊かな都市形成・人材形成に繋げる。また、このようなアートムーブメントは浜松を愛する地元作家たちの自主的な活動であり、作家が柔軟な発想とプライドを持ち、生き生きとしたライブ活動が行える場を提供する。	【期間】 H30. 4. 1～H31. 2. 28 【場所】 ゆりの木通り商店街、肴町商店街、有楽街、浜松城公園 【内容】 作品展示、パフォーマンス等関連イベントの開催、ワークショップ、絵本の読み聞かせ、演劇公演等。 出展等参加者数95人 (提案想定50人)	598,996 [282,000]	1	A	A	A	B	・街中の店舗や公園での作品展示、販売、市民型ワークショップを行うなど、創造的なコミュニケーションの場が提供された。 ・展示場に来てもらうだけでなく、作家側から積極的にコミュニケーションを図り、市民と関わりを持つことで「アートを生活の中に」をコンセプトに、立場や年齢、ジャンルの枠を超えた交流が実現した。 ・市外や県外と遠方からの来場者も多く、今後浜松を代表するイベントとなることを期待する。
4 第7回 浜松ジオラマグランプリ 特定非営利活動法人はままつ未来会議	優れたジオラマ作品を鑑賞する環境の提供とコンペティション開催により、中区及び浜松市の文化振興と中心市街地の活性化を図り、「ものづくりの街浜松」の未来を担う力の育成と浜松市のイメージ・ステータス向上に繋げる。	【期間】 H30. 8. 24～8. 26 【場所】 ザザシティ浜松西館2階通路特設会場 【内容】 ジオラマ(情景アート)のコンペティションを実施。一次審査通過作品を会期中一般公開し、会期最終日に審査・入賞者の表彰。一般向けジオラマ教室、小学生向けプラモデル教室の開催。 来場者約2,500人 (提案時想定4,000人)	901,266 [348,000]	2	A	A	A	A	・当日来場者数約2,500人、また日本各地及び香港から作品の応募があり、中心市街地の賑わいが創出された。 ・一般向けジオラマ教室や小学生向けプラモデル教室の開催、ボランティアの公募等、昨年より幅を広げた活動は、浜松市の文化振興の担い手育成に繋がると認められる。 ・作品展示の来場者も多く、地域を超えて広く支持されるイベントとして成長している。
5 2018ランニングフェス in 浜松シリーズ 株式会社TOMO RUN	ランニング種目やかけっこ教室、障がい者体験等、四ツ池公園陸上競技場や和地山公園にて、中区住民を主としたランニングイベントを実施する。公園で実施することにより、ランニングをより身近に感じてもらい、近隣住民が参加しやすいランニング環境を提供する。ランニングを通じて、スポーツの振興及び地域コミュニティの形成を図る。	【期間】 H30. 5. 19(雨予報)、8. 25(雨)、9. 29(台風前)、12. 15(晴) 【場所】 四ツ池陸上競技場、和地山公園、花川公園 【内容】 全員おにごっこ、大長縄跳び、借り人競争、全員リレー、1kmタイム測定、栄養ビーチフラッグ、ヨガ・フラダンス・かけっこ教室等。 全4回来場者延べ800人 (提案時想定延べ800人)	903,317 [451,000]	1	B	A	B	B	・中区内3カ所を会場とすることで、近隣住民が参加しやすいランニング環境を提供した。 ・幼稚園児から70歳代まで幅広い年齢層が参加し、地域コミュニティの形成に貢献した。 ・各会場で次年度も継続実施できる関係を構築した。 ・雨天や雨天予報によって参加者数が伸び悩んだことから、事前の周知方法や雨天時の対応について検討が必要である。
6 軽トラはままつ出世市 軽トラはままつ出世市実行委員会	鍛冶町通りを歩行者天国にした非日常の中で、中心市街地ならではの賑わいづくりを行う。また、商店街が連携したイベントを開催することで、来街者に対して中心市街地の魅力の情報発信を行い、再来街の動機付けを図る。連合会組織を始め、各自治会には、開催にあたって住民に対する周知を図り、地域ぐるみで行うイベントとして風土の醸成を図る。	【期間】 H30. 11. 18 【場所】 鍛冶町通り、モール街北側、肴町(一部)、有楽街(一部) 【内容】 ・軽トラ市…軽トラを配置し、浜松市の農林水産品を販売。地元6団体によるステージイベントの開催。 ・商店街連携イベント…ストリートカフェ、出世屋台市の実施、田畑政治のポスター展示。 来場者32,000人 (提案時想定30,000人)	3,445,532 [1,300,000]	1	A	A	B	A	・浜松市の農産物や海産物を積んだ軽トラック計60台が集まり、産業活性化と中心市街地の賑わいが創出された。 ・地元団体によるステージイベントや、地元の飲食店を中心としたストリートカフェの出店、地元出身である田畑政治のポスター展示等を通して、中心市街地の魅力の発信に貢献した。 ・約32,000人の来場者があり、来年も開催を希望する声が多かった。出店者満足度調査でも、次回出店希望が85%となり、事業への理解が得られている。
7 HM358「遠州市場」 一般社団法人 浜松商店界連盟	市民に対し賑わいの場と、商店会ならではのコミュニケーションの場を提供する。また、浜松駅前立地を活かし、海や山、産業等の様々な顔を持つ遠州の魅力を発信し、再発見してもらう。海外のマルシェをイメージし、誰もが1日楽しめる場所とする。	【期間】 H30. 11. 10～H31. 3. 9(全5回、原則毎月第2土曜日) 【場所】 The GATE Hamamatsu 南側イベント広場 【内容】 遠州地域の農産物の直売品・加工品などを販売。音楽家による演奏。 団体スタッフ130人 参加者2,600人 (提案時想定1,000人)	1,107,093 [517,000]	1	A	A	B	A	・遠州地域の農産物の直売品・加工品等を販売することで、地元の魅力の発信に貢献した。 ・The GATE Hamamatsuのオープンや、大学生の出店、音楽演奏者とのコラボなどにより幅広い年齢層の入場者が増え、賑わいの場が創出された。 ・出店数では、第5回が8ブース、第6回が10ブース、第7回が11ブース、第8回が8ブース、第9回が20ブースと増加傾向にあり、事業への理解と協力が得られている。